

第4回FD学習会実施報告

平成29年3月15日(水)、天白キャンパス共通講義棟東H102教室において、第4回FD学習会を開催した。今回のFD学習会は、能動的な学習方法として注目されるアクティブラーニングについて、講師に富山大学教授 橋本勝氏を迎え、『多人数講義でのアクティブラーニングの無理のない導入に向けて～ヒントとしての「橋本メソッド」～』をテーマに、実施した。



講演は、大人数教室においてもゼミ型の授業を展開する「橋本メソッド」と命名される学生参加型授業を取り込んだ形式で行われた。また、橋本メソッドはヒントの一つであり、各々に合う方法で「大したことない」アクティブラーニング(ライト・アクティブラーニング)を実践し、学生の主体的な学びを自然に引き出せるように努めてほしいとのメッセージがあった。

ワークショップを通じて、参加者がアクティブラーニングについての理解と、参加者同士の交流を深め、実施後の参加者アンケートからは、「講演そのものが授業の見本になっており、参考になった」「アクティブラーニングを授業で実際に行って感じる悩みを話せて有意義だった」といった意見があった。

最後に、野口FD委員会委員長(副学長)から、「学生の主体的な学びを引き出す手法の一つとして、今後の授業改善への参考になった。学生が主体的に学ぶことは、学校法人名城大学の基本戦略MS-26にも掲げている『生涯学びを楽しむ人材』の育成にも繋がることであり、本学の教員が一丸となって取り組んでいきたい」との纏めをもって閉会した。